

# バリ島の若者と彼らの絆を再び強める試み 伝統的な生態学的知識

著者: Mauricio Camacho Suárez、インドネシアのジャングル出身

デザイン: Irma Sitompul、インドネシアのプラティサラ プミ財団より

## バリ島の環境悪化につながる主な問題の一つは、断絶である。

バリ島の文化と伝統は、自然と調和して生きる方法の好例です。儀式や日常生活の慣習は、人間が自然を搾取しないように設計されています。しかし、バリ島の伝統的な生態学的知識の多くは徐々に取り残され、バリ人とその土地とのつながりが断たれています。このつながりの断絶は、島が「開発」ブームに陥ることにつながり、わずか50年で、その風景は「近代的な」コンクリート都市に完全に変わりました。これらの出来事が最近起こったため、過去の再生的な慣習は、40歳以上の人なら誰でも今でも覚えていますが、優先順位が変わっても、これらの大人たちは、人間が地球と調和して繁栄できる新しいパラダイムを作成するための鍵となる貴重な伝統と知識とのつながりを今でも持っています。



写真提供: バルサン

# 1000

## ヘクタール

バリ島の農地の1年間の面積が観光用に転用されています。

出典: Bisnis.com



写真提供: マヤリバーサファリロッジ

## 機会

バリ島の若者の大半は現在、都会の生活に夢中になっていて、古い伝統を守ることに興味がありませんが、彼らの文化のこの部分は彼らにとってまだ馴染みのないものではないので、彼らの見方は変わる可能性があります。先祖の土着の教えを思い出すよう彼らを支援する機会はまだあります。彼らがこれらの慣習を実行し、守ることへの誇りを取り戻せば、島の持続可能な未来は可能になるだろう。

## 学校のためのジャングル - 森林の植林を超えて



上記の機会に対応するため、私たちは学校に森林を取り入れるプログラムを立ち上げました。宮脇メソッドを使用して、バリ島の未来の世代が「開発」によって失われた環境と知恵を再び利用できるようにしたいと考えています。森林が単なる緑地以上のものとして活用されるように、私たちはプラティサラ・プミ財団と提携して、教師向けのカリキュラムとトレーニングプログラムを開発しました。私たちは、教育者が森林を教室として活用する包括的な授業を簡単に計画し、実施できるようにしたいと考えています。

目標は、森を子供たちが地球を守り、自然と調和して生きるための手段として活用することです。さらに重要なのは、森が若者にとって重要で関連性のある文脈で持続可能な未来が何を意味するのかを定義する手段として活用されることです。

### 私たちの方法



### 2024パイロットプログラム

- ✓ 1つの公立学校と提携
- ✓ 3つの森林区画を支援
- ✓ 森林総面積: 300m<sup>2</sup>、樹木900本、49種
- ✓ 20校が特定された

### 私たちのタイムライン

